

# 南九州税理士会報

2024年9月号



南九州税理士会／熊本市中央区大江5丁目17番5号  
TEL096-372-1151  
[HP] <https://www.mkzei.or.jp/>  
[E-Mail] [nankyu@mkzei.or.jp](mailto:nankyu@mkzei.or.jp)  
[発行責任者] 会長：東 秀優  
[編集責任者] 広報部長：菅 静友  
[印刷所] 株式会社城野印刷所

## 第551号

令和6年9月1日

着任のごあいさつ [P2]  
座標軸 [P5]  
会務ニュース [P6]  
第2回地域別研修会 [P7]  
北陸会との意見交換会 [P8]  
部・委員会ニュース [P9]  
県連合会ニュース [P14]  
会員税務相談室事例 [P18]  
随筆 [P20]  
支部だより [P23]  
協同組合・共済会 [P25]  
研修会のご案内 [P28]  
7月の会務 [P33]  
肥後狂句 [P37]  
TAINS FLASH NEWS [P38]  
事務局だより [P39]

「瀬平公園から望む開聞岳」 鹿児島支部 田之畑 龍一 会員撮影 ※17ページに写真説明



# 随筆

## ジョブズから貰った ワクワク

鹿児島支部 田之畑 龍一

以前、本会報の随筆にて、「電気屋さんになりたかった」というタイトルにて寄稿させていただきました。その中で、Appleに対する話に触れた際、紙面の関係上、また書く機会があれば、と割愛させていただきます。

今回、またその機会をいただきましたので、そのお話をさせていただければと存じます。

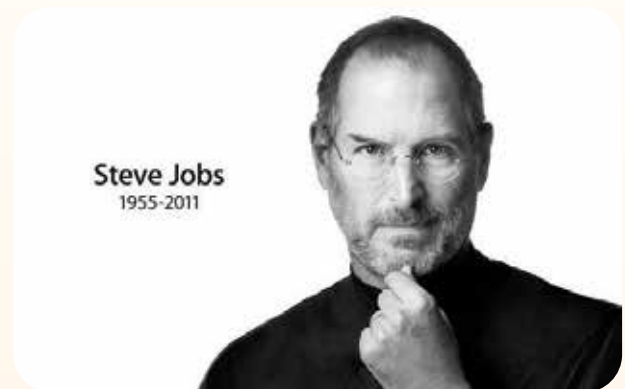


以前も書きました通り、私とAppleの出会いは大学時代です。当時は「Windows95」発売前夜にて、世の中は一大パソコンブーム、加えて一大「Windows」ブームとなっておりました。そんなブームのさなか、私とはというと、大学での情報処理の講義で少しパソコンを触る程度で、特段パソコンには興味がありませんでした。とはいえ、これからの時代、パソコンを持っておく必要がある、という強迫観念に似た危機感は持っており、そんな中、たまたまバイト先の先輩の家で目にしたのがMacintoshでした。当時のパソコンは見た目こそ、どれも同じような形状で、私が目にしたMacintoshもアイボリー色の無骨なフォルムをしていました。ただ、その画面に映し出される柔らか

いカラーの色合いや、起動した際に現れるMacOSのスマイルマークに、それまで持っていたパソコンのイメージを覆された気がしました。その後すぐに、パソコンが得意な友人に秋葉原までついて来てもらい、Macintosh縛りという前提でパソコンショップを見て回り、そこでお勧めされた「Power Macintosh6200/75」を購入しました。

Macを手に入れた私は、そこからパソコンに対する興味がどんどん湧いてきた、となればよかったです。実際はそういうことはなく、当時はインターネットもハードルが高く、私の購入したMacには通信するためのモデムもついていなかったもので、大学時代はたまに立ち上げて絵を描くくらいの贅沢なおもちゃとなっていました。そんな私がMacを毎晩のように触るようになったのは、大学卒業後、友人に借りた外付けモデムを使ってインターネットを始めてからとなります。

インターネットの世界にはまり、毎日Macを触るうち、パソコンにもインターネットにも興味を持つようになり、パソコンのスペックが物足りなくなってきた頃、Appleに「あの人」が帰ってきます。そう、スティーブ・ジョブズです。



Apple HPより

スティーブ・ジョブズはAppleの創業者として有名ですが、1985年には上層部に追い出される形でAppleを退社しています。その後、新しいパソコン

の開発や、今では世界的に有名なアニメーション制作会社「ピクサー」を立ち上げるなど、Appleとは離れた所で活躍していました。



その彼がAppleに帰ってきたのは1996年、Windows95発売の翌年です。そして1998年には当時大きな話題となったトランスルーセント（半透明）のカラフルなiMacを発表し、倒れかけていたAppleを一気に立て直しました。私もその到底パソコンらしからぬ外見に衝撃を受け、iMac購入に走りました。

その後のAppleの快進撃は皆さんご存じの通りです。iPodで音楽の楽しみ方を変え、iPhoneで電話の使い方を変えました。（ジョブズは再定義または再発明と呼んでいます）

私がジョブズに一番感銘を受けたのは、何といっても彼のプレゼンテーション能力です。Appleの新商品発表会における、彼のプレゼンは聞くものの興味を最大限引き出し、聴衆を強く魅了します。言い換えれば、「ワクワク」感を与えるのがとても上手ということです。

ジョブズが行った基調講演の中で、私が一番好きなプレゼンは何といってもAppleが初めてiPhone

を世に出した時のものです。新しい3つの新製品があると話を切り出し、それが実は1つの端末であることを発表した瞬間、私は言葉では言い表すのが難しいほどの高揚感を感じたことを覚えています。今でも時折YouTubeなどで当時の基調講演の動画を検索し、その時のワクワク感を反芻しています。ワクワク感は購買意欲を強く引き出すことが可能だと実感した瞬間でもあります。

それから大分時が経ち、私が経営計画やMAS監査業務などの、未来会計とも称される会計業務に関する研修を受けた際に、この「ワクワク」という言葉が出てきました。大まかに説明すると、経営者と従業員が経営方針等において同じ方向を向き、そこで働く全員がワクワクしている会社は成功する、というものです。私はこの研修を受けた際、真っ先にジョブズのプレゼンテーションを思い出しました。そして、それと同時にこの定義に強く同意することができたのです。

ジョブズは類い稀なる個性を持った人物で、それ故、周囲の反感を買うことも多く、性格に難があったと言われることも多いですが、その個性から生まれた言葉が多くの人を魅了してきたことは事実です。

残念ながらもうジョブズはこの時代にいませんが、彼が残してくれたワクワク感は現在のAppleの経営陣に受け継がれ、これからも強く、Apple製品に対する魅力を引き出してくれることを期待しています。

そして私も、「ワクワク」が持つ大きな力を少しでも多くの方と共有していけるよう、日々励んでいきたいと思っています。

#### 日税連機関誌「税理士界」新春号第1面掲載写真募集

## あなたの写真で飾りませんか

広報部では、日税連「税理士界」新春号（令和7年1月15日付）の1面写真を会員の皆様から募集しています。奮ってご応募ください。

■募集締切日……令和6年11月6日必着

■写真……A4判以上の大きさのカラー写真又はデジタルデータ

テーマは、特に正月に関連するものに限らず、自由なテーマでお願いします。できれば明るい、前向きなイメージの作品をご提供ください。

ただし、未発表のものに限ります。

南九会広報部で応募作品から1点を選定・送付し、日税連広報部において全国の単位会からの作品のうち1点を選考決定します。

■あて先……南九州税理士会広報部 〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目17番5号  
メールアドレス kouhou@mkzei.or.jp